

私たち農林中央金庫の仕事は、  
ある日突然、世界を大きく変えるようなものではない。

なぜなら私たちが向き合う農林水産業とは、  
自然を相手にし、一朝一夕に変化や成果を生み出すものではないから。  
モノをつくるのではなく、「いのち」を生み、育て、繋いでいくものだから。

だからこそ私たちは、世界の金融市場で安定した利益をあげるという挑戦を続け、  
規模の大小を問わず、地域と農林水産業を守る人々に尽くす金融機関として生きてきた。  
そうして、100年の歴史を重ねてきた。

しかしこれからは、それだけでは十分とはいえない。  
農林水産業が、時代の変化をとらえ発展し続ける産業になるためには、  
私たちは、これまで以上の役割を果たさなければならない。

金融の知見を活かしながら、いままでの機能や範囲を超えた新たな貢献へ。  
現場の課題の解決に、身をもって真摯に挑んでいく。  
生産者はもちろん加工や流通、そして消費者と向き合い、その声に応じていく。

農林水産業から生まれる「いのち」は、  
その先に連なるたくさんの「いのち」の営みに繋がっている。

いまこそ、私たち一人ひとりが、持てるすべてを発揮する時。  
未来へと受け継がれるこの「いのち」の連鎖を、  
より豊かで確かなものにするために。

**持てるすべてを「いのち」に向けて。**

Dedicated to sustaining all life.

**農林中央金庫**

## 目次

<b>国谷裕子</b> <small>ジャーナリスト</small> × <b>奥和登</b> <small>農林中央金庫 代表理事理事長</small> ..... 3
変化してきた農林中金 変化していく農林中金
<b>私たちの人となり</b> ..... 9
<b>私たちの歩み</b> ..... 11
<b>農林中央金庫の価値創造モデル</b> ..... 13
<b>農林中央金庫の目指す姿</b> ..... 15
創立100周年 個々人で目指す「Myパーパス」 ..... 19
<b>価値を生み出す3つの事業とその基盤</b> ..... 23
食農ビジネス ..... 25
リテールビジネス ..... 29
投資ビジネス ..... 33
コーポレート ..... 37
財務・非財務ハイライト ..... 39
企業データ ..... 42

### 編集方針

- 当金庫は、ステークホルダーのみならずみなさまに当金庫の持続可能な価値創造に向けた取組みをご理解いただくために、このたび統合報告書を発刊しました。編集にあたっては、IFRS 財団が公表した「国際統合報告フレームワーク」を参照しています。
- なお、サステナビリティへの取組みの詳細情報は、当金庫ホームページ「サステナビリティ」をご覧ください。
- 本誌における記載内容は、当金庫ディスクロージャーポリシーに基づき、情報開示協議会において開示の適切性を審議し、農林中央金庫法により設置が定められた経営管理委員会・理事会に報告または付議され、最終的に対外開示担当理事が決定しています。

### 当金庫で発行する 統合報告書の位置付け

当金庫では各ステークホルダーの関心事項を鑑み統合報告書を分冊にて発行しています。  
各誌の詳細は、当金庫ホームページ (<https://www.nochubank.or.jp>) あるいは、二次元バーコードを読み込み、各誌 PDF版をご覧ください。

一般的

専門的

